

「見える化」の徹底で安全意識の向上を図り、「草の根安全活動」を推進

北上ハイテクペーパー株式会社は、岩手県産の広葉樹を使用して、世界中で使われる写真用紙のベースとなる紙を生産している。地産地消の企業として地域貢献をめざす中で、あらゆる側面から「見える化」を図る安全推進活動を展開している。

北上ハイテクペーパー株式会社・岩手県

協力会と一体になった安全衛生管理体制

北上ハイテクペーパー株式会社の前身は1965年創業の白河パルプ工業株式会社北上工場、翌年には三菱製紙北上工場となった。そして2005年に三菱製紙より分社化して現在の社名になるという変遷を経てきている。現在、従業員は130人ほどで推移しており、関連会社を含めると370人ほどの陣容となるが、工事関係の子会社、荷役関係、構内に常駐する運送などを担当する5社が協力会を構成している。

安全衛生に係る方針や具体的な活動は、親会社である三菱製紙の基本理念を継承している。図1に北上ハイテクペーパーの安全衛生管理組織図を示した。図によれば、総括安全衛生管理者の社長の下に部署ごとの安全衛生管理者がおり、係長クラスには安全衛生指導員が設けられている。特徴的なのは、工場の協力会社5社と一体となった安全衛生管理体制を構築していることで、協力会の代表は安全衛生委員会にオブザーバーとして出席し、下部組織である安全衛生指導員会には協力会の指導員も出席する。両委員会とも月に1度開催し、方針を確認し合う中で、合同の安全パトロールや、協力会独自の安全パトロールなど、きめ細やかな安全衛生対策を一緒に取り組んできた。

キーワードは一人ひとりが主体性を持った「草の根安全活動」

紙を製造する工場には、紙を巻き取る機械や、木材チップを薬液で処理するなど、大きく危険な機械設備があるため、危険を「見える化」し、実際に危険を体感する体感教育を進め

写真1 安全帯使用体感



写真3 塩素の刺激臭の体感



写真2 コータープレス挟まれ体感



写真4 職長教育



てきた。

各部署は工夫を凝らし、安全帯使用体感（写真1）、ベルトコンベア巻き込まれ体感、コータープレス挟まれ体感（写真2）等の教育を実施している。

平成24年からは「草の根安全活動」ということを進めている。これは自らの安全意識を向上させ、1人ひとりが主体的に安全に取り組んでいこうというものである。

次世代育成を視野に置いた教育の実施

北上ハイテクペーパーでは、協力会社を含む全従業員に対して場内ルールを集約した「一般安全作業心得」で教育を実施している。その中身は、基本理念に始まり、安全の基本、ルールなどを明記したもので、テキストを見開きにしたとき、左側に法令などを載せ、右側には事例を掲載するなどの工夫をしている。次に危険予知トレーニングであるが、以前から進めていたものの、今一度初心に戻ろうと、安全のキーパーソンである安全衛生指導員全員に外部KYTトレーナー講習を受講させ、講師となり、KYT教育を協力会社も含め全従業員に実施している。さらには、職長教育である。職長教育課程の日程表を図2に示したが、職長教育の講師は2人で、自前の講師である。この2人のトレーナーによって、

場内の作業形態を考慮した教育内容となっている（写真4）。

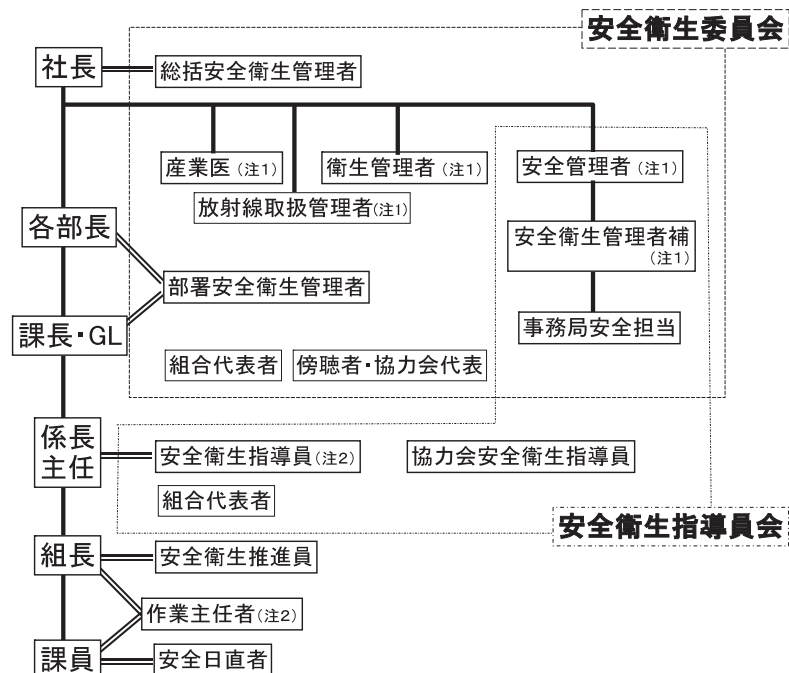
自身が講師の一員でもある総務グループ主任は「当社では職長ではなく、組長と呼んでいます。年に1回、2日間にかけて行う職長教育はほとんどの該当者の受講が終わりました。今は、その下の人たち、つまり次世代のメンバーの人材育成を目指した職長教育を進めているところです。こちらの間もなく終了するため、次は5年ほど組長を経験している人を対象に、再受講を予定しています。安全意識の向上はこのように連綿と繰り返していくしかありません」と語る。

決めて、知らせて、守らせるという基本を徹底

安全管理者のパルプ製造部長が常に検証を心がけているのは、守れないルールがそのままになっていないかということである。知らぬ間に形骸化していないか、誰が見ても分かるルールになっているかどうか、そして守ることを決めたら、それを全員に知らせ、いかに徹底させるか、ということに注力する。守らなければ当然、叱られる。つまり「しつけ」の原点がここにある。5年ほど前から「しつけ」をプラスした5S活動を進めてきたのも、しつけを徹底することで次世代の人材育成を図っているからである。

人材育成ということで、最後に斬新な声を聞かせてもらった。それは協力会社も含め、全ての従業員1人ひとりの安全に対する意識が向上し、危険に対する感性が研ぎ澄まされたら、安全管理担当者は身を引いてもよいのではないかという考え方であった。いわゆる草の根運動の目的が運動の浸透にあることを考えれば、「草の根安全活動」の究極の目的も活動の浸透にあると言ってもよい。安全推進の第一線で頑張っている人ならではの思い切った発想であり、それは誰が担当しても継承できる体制があるという揺るぎない自信に裏打ちされている。

図1 安全衛生管理組織図



(注1: 総括安全衛生管理者が選任)

(注2: 部署安全衛生管理者が選任)

図2 職長教育日程表

2012年 職長教育日程表

H24.5月14～15日 2日間 川岸寮

第1日 14日	8:30 O-1	9:00 LO	9:50	休憩	10:00 L1-1、3、CS	昼食	13:00 L1-2、L3-1,2,3,0	16:30 L6	18:00 CS	憩親会	21:00
	開講式 1.安全衛生管理者 挨拶 (写真撮影) オリエンテーション ・他已紹介 名前、年齢、出身、 職場、役職、 趣味、特技	職長の役割 ・過去の災害事例	L1-1作業手順の定め方 L1-3適正配置 「適正配置のためには…個人特性と性格分析」CS ・性格分析テスト		L3-1設備の改善 L3-3安全衛生点検 「安全点検テスト」 L3-0 OSHMS ビデオ「労働安全衛生マネジメントシステムと職長」20分		L6危険性又は、有害性等の調査の結果に基づき講ずる措置(リスクアセスメント) 事例研究 A組:RC樹脂片付け B組:パーカー原木取り除き				
第2日 15日	8:30 CS	9:00 L5-1,2	11:00	休憩	11:10 L4-1,2	昼食	13:00 L4-1,2 CS	13:50	14:00 L2-1,2 CS	16:30 L	17:00
	1)リスクアセスメント発表 ビデオ「アシモと学び KYTとリスクアセスメント」 KYT実施	L5-1労働災害防止についての関心の保持 L5-2労働者の創意工夫を引き出す方法「モチベーションを上げる方法」CS	L4-1異常時における措置 L4-2災害発生時における措置		引き続き DVD「災害事例研究の進め方」災害報告書記入		L2-1指導・教育の進め方 DVD「教え方・指導の仕方」 L2-2監督・指示の方法 DVD「頑張る田中職長」15分 「安全意識をたかめるためには」CS	過去の災害事例 閉講式 1、修了書授与 2、安全衛生管理者挨拶			

O…オリエンテーション

L…講義

CS…討議、演習